

令和元年

第10回教育委員会会議 議事録

秋田県教育委員会

令和元年第10回教育委員会会議 議事録

- 1 期 日 令和元年6月20日 木曜日
- 2 場 所 教育委員室
- 3 開 会 午後2時
- 4 閉 会 午後2時15分
- 5 出席者 教育長 米田 進
委員 伊藤佐知子
大塚和歌子
伊勢 昌弘
吉村 昌之

6 説明のための出席者

教育次長 太田 政和
総務課長 片村 有希

教育次長 渡部 克宏
高校教育課長 伊藤 雅和

7 会議に付した事項

報告事項 秋田県公立高等学校入学者選抜に係る検討委員会の設置について

8 会議の要旨

【米田教育長】

ただいまから、令和元年第10回教育委員会会議を開催いたします。
本日の議事録署名員は、3番大塚委員と4番伊勢委員にお願いします。
なお、1番岩佐委員は欠席しております。

【米田教育長】

それでは、報告事項の秋田県公立高等学校入学者選抜に係る検討委員会の設置について、高校教育課長から説明をお願いします。

【高校教育課長】

報告事項「秋田県公立高等学校入学者選抜に係る検討委員会の設置について」説明概要

- ・本事項は、当初5月の教育委員会会議で報告する予定だったが、委員の決定が遅れたため、6月の報告に至った。
- ・検討委員会は、変化の激しい社会を生きていくために必要となる資質・能力の育成に向けて、望ましい入学者選抜制度の在り方について検討するために設置した。
- ・平成17年度から実施している現行の入学者選抜制度は、通学区制の廃止により、進路選択の拡大を図ったり複数の受験機会を設けたりすることで、様々な観点や資質から改善してき

た経緯がある。

- ・今回設置する検討委員会では、現行制度を検証した上で、今後の方向性について検討する。
- ・委員については学識経験者や教育関係者及び保護者の代表者に依頼している。
- ・まずは7月1日に開催する第1回検討委員会で教育長による諮問を予定しており、全体では7月～1月の年5回程度の開催を見込んでいる。内容によっては変更や見直しの可能性がある。
- ・現時点では、令和5年度4月入学者からの適用を計画している。令和5年度4月入学者とは、現在の小学校6年生である。

【米田教育長】

ただいまの説明について、質疑等ございませんか。

【伊藤委員】

なぜこのタイミングで検討委員会が設置されるのか、詳しく教えてください。

【高校教育課長】

まずは、中学校学習指導要領と高等学校学習指導要領の改訂が挙げられます。これまで以上に中学校と高校の学習の接続が重要視されています。より円滑な中学校と高校の学習の接続のために、検討委員会を設置しました。また、中学校や高校の関係者から、今の入学者選抜制度には課題もあるという指摘をいただいています。前期選抜の在り方等についても検討する必要があると考えています。

【伊藤委員】

中学校や高校の関係者から指摘された課題を教えてください。

【高校教育課長】

前期選抜の期日が現行制度では1月下旬であり中学生にとっては、緊張を強いられる期間が長くなるため、指導が難しいという指摘がありました。

【伊藤委員】

前期選抜を終えて、早めに進路が決まった子ども達が周囲に影響を与えるということでしょうか。

【高校教育課長】

そういうわけではございませんが、やはり、試験が終わった後の指導が難しいという声はあります。

【伊藤委員】

試験を見直すということは、求める生徒像も考えなくてはならないということだと思いますが、そのことについては、検討委員会設置の目的にもある通り、変化の激しい社会を生きていくため

に必要な資質や能力を培うような試験にしたいという考え方で良いでしょうか。

【高校教育課長】

試験の内容についてのご質問ですが、本検討委員会では試験の内容ではなく、どちらかという
と日程の組み方などの制度部分を検討したいと考えています。

【米田教育長】

資料には検討委員会の概要欄に、内容として現行制度の検証と今後の方向性についての検討と
あるが、検証の方法として考えていることはありますか。

【高校教育課長】

事前に中学校や高等学校の教諭や校長にアンケートを実施しました。アンケートにご意見や感
じたことを記載していただき、検討委員会の中で必要に応じて提示し、委員やPTA関係者から
ご意見を吸い上げることを考えております。

【大塚委員】

高等学校入学者選抜に変換期がきている、つまり、今の小学校6年生が受験する時には、現在
と大きく制度が変わっていると考えて良いのでしょうか。

【高校教育課長】

現時点で方向性が決まっているわけではなく、変化の規模については、検討委員会の中で協議
を進める中で検討していきます。ただ、新制度で受験する最初の生徒がとまどうような制度とな
らないように、検討しながらスムーズに移行できるようにします。

【米田教育長】

今のところ検討委員会の開催を年5回程度、答申は来年の1月下旬以降としているが、場合
によっては見直しを検討することもあるとのことなので、不確定な部分もあるという受け止め方
で良いでしょうか。

【高校教育課長】

アンケートの内容や委員間で話し合う中で新たな課題が見つかる場合もありますし、内容に応
じて検討委員会の回数を増やすことや時間の配分も検討する必要があると考えております

【米田教育長】

いろいろ意見は出てくるとは思いますが、周知期間をしっかりと確保することが大切です。

【米田教育長】

予定された報告事項は以上ですが、他にございませんか。

特になければ、以上で本日の会議を閉じます。

お疲れさまでした。